

高円宮妃杯 JFA 第 27 回全日本 U-15 女子 サッカー選手権大会



旭田好里さん(南矢幅1区出身) 所属 JFAアカデミー福島が優勝

昨年12月開催の「高円宮妃杯JFA第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会」で、JFAアカデミー福島が優勝。このチームには本町出身の旭田好里さん(DF)が所属し、今期は主将としてチームを先導しました。12月28日、旭田さんが町役場を訪問。高橋町長へ大会の報告を行い、今後の抱負を伝えました。ここでは、旭田さんの発言をまとめたものを紹介します。

中学最後の全日本大会
優勝の喜び、チームに感謝

4月に高校進学
世界を目指し意気込む

主将として、チームの雰囲気が悪い時こそ、チームのために自分が声を出してまとめられるようにしたり、心が離れないように寄り添えるように心掛けてきました。

決勝では、後半の開始早々にコーナーキックから頭で合わせて先制点を獲得。自分はまだあまり感じませんでした、チームのみんなが「先制点で勢い付いた」と話してくれました。

自分一人だけでは、ここまで来ることは出来なかったと思います。(試合直後は)実感が湧きませんでしたが、みんなの笑顔を見て、「優勝したんだ」という気持ち、うれしさが増していきました。

中学3年間を過ごしたアカデミー福島では、食事面などサッカー以外の部分も充実していて、栄養などもしっかりと整った中で体作りができました。身長は170センチで体の強さに自信があり、それをさらに伸ばし、スピードやターン技術も身に付けたいです。

理想の選手像は、チームから信頼され、勝利に導ける力を持った選手、ディフェンスラインに入ることによってチームに安心感を与えられるような選手。「世界でプレーをしたい」という気持ちが大きいので、高校生のうちに自分が今、できていないプレーを身に付けることを目標として、着実に成長していきたいと思います。